

ノートルダム清心女子大学ノートルダムホール本館・東棟



指定区分	国登録有形文化財(建造物)
読みかた	のーとるだむせいしんじょしだいがくのーとるだむほーるほんかん・ひがしどう
所在地	岡山市北区伊福町
指定年月日	平成19年7月31日
解説	昭和4年(1929)に、ノートルダム清心女子大学の前身である清心高等女学校の建物として建設された。設計者は、本館・東棟ともに、チェコ人のアントニン・レーモンド、彼の日本における初期の建築作品である。本館は、鉄筋コンクリート造、二階建、建築面積3,250平米、中庭を囲むような口の字型の建物配置、柱と連続する規則的な窓枠配置が印象的である。東棟は鉄筋コンクリート造、三階建、建築面積2,176平米、建物中央に配置された聖堂(礼拝堂)が中心的な施設。聖堂正面の外観は、色ガラスの入った小窓が並び、建物上部に丸柱を持つ鐘楼が設けられる等、幾何学的デザインが多く採り入れられ、ともに、昭和初期のモダニズム建築の好例である。
アクセス方法	JR岡山駅西口から徒歩10分
公開状況	大学施設として使用しているため、見学の際は事前に要連絡 [問い合わせ先]086-252-1155
設備	
備考	